

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- スイッチを入れても所定の時間で充電しない
- 通電中に異音、異臭、あるいは発煙する
- ヒューズがすぐ切れる
- ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感じる
- その他の異常や故障があるとき

このような症状のときは
直ちに使用を中止してAC
プラグをコンセントから抜
いて、弊社営業所または
販売店にご相談ください。

- ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

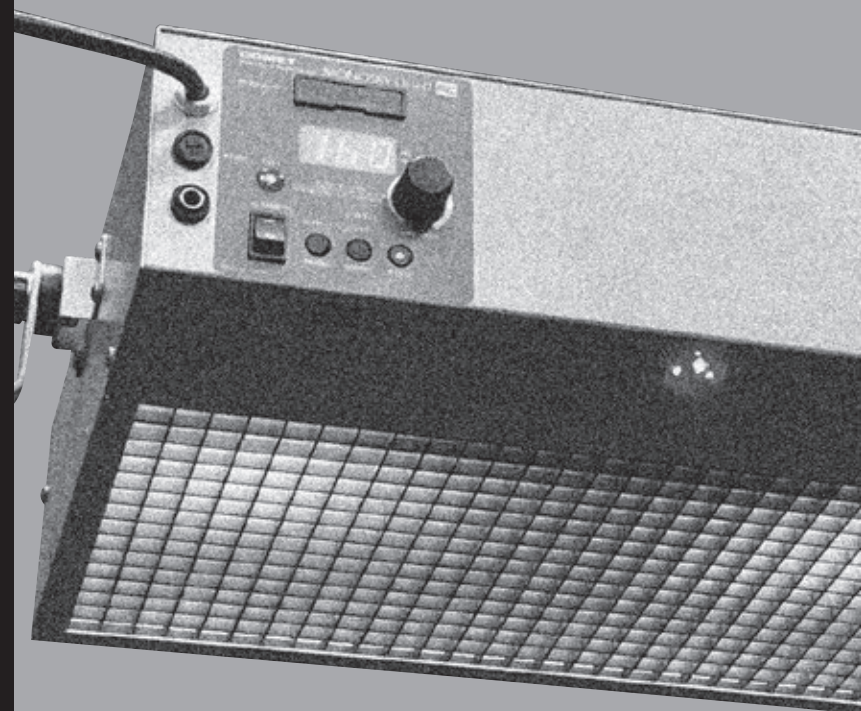
本社	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台 4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 コマーシャル課	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
東京営業所 名古屋連絡所	〒463-0813	名古屋市中区吉根南 501 101号室	TEL.(052)737-3175	FAX.(052)736-2841
大阪営業所	〒531-0075	大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒531-0075	大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
福岡営業所	〒816-0912	大野城市御笠川 4-11-19 VI-2号室	TEL.(092)504-9005	FAX.(092)504-9006
海外事業部	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
産業機器部	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5787	FAX.(03)5916-5874

COMET

モノスカイライト RC

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメント モノスカイライト RCをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、小型モノブロックタイプスカイライトとして開発されました。

調光範囲FULLから1/32まで(160Ws～5Ws)を1/6EVステップで調光します。

モデリングランプは長寿命LEDランプを採用しました。

RS-Receiver II (別売) を装着することにより無線シンクロ撮影が可能です。※RS-発信器 (別売) が必要です。

また、RS-Controller (別売) を操作することで、調光、ストロボ出力のON/OFF、テスト発光、無線シンクロ撮影が可能です。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいた上でご活用ください。

付属品

●ヒューズ 6A (ヒューズホルダー内に格納)	1 本
●取扱説明書	本書
●保証書	

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1～4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6～7
4. 操作手順	8～9
5. 出力バリエーター	9
6. モデリングランプ	10
7. サウンド	10
8. フォトセル	11
9. RS-レシーバー II (RS-Receiver II)	12～13
10. RS-コントローラー (RS-Controller)	14～15
11. 不発光警報	16
12. 過熱警報	16
13. ヒューズの交換	17
14. 保証とアフターサービス	18
15. 仕様	19～20

1 安全のため特にご注意ください



■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



○記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部には、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部に長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態、素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



- 本体スリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- ストロボは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



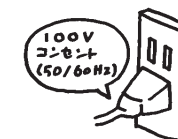
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V±10% (50/60Hz)です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグを着脱する時は必ずメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

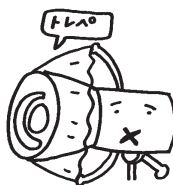
急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

注 意



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



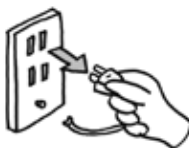
- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のため必ずACコードをコンセントから抜きとるか、ブレーカーなどをOFFにしてください。

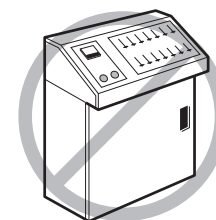
発火、火災の恐れがあります。



2 使用上のご注意とお願い

- 調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

- ストロボ電源部は使用しないときでも1ヶ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。



- 3ヶ月以上（10ヶ月未満）の長期間で使用にならなかったストロボ電源部は、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

- 10ヶ月以上の長期間で使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検（有料）を受けてください。長期間で使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、発火、火災の恐れがあります。

- 過酷な使用で万一過熱警報がはたらいたときはACパイロットランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときはメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、内部の温度が下がるまで使用を中止してください。

- 無線コントロール装置、無線シンクロ装置（弊社製）は無線LANと同様に2.4GHz帯の周波数を使用しています。無線LAN環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。（使用周波数：2.427GHz～2.457GHz）

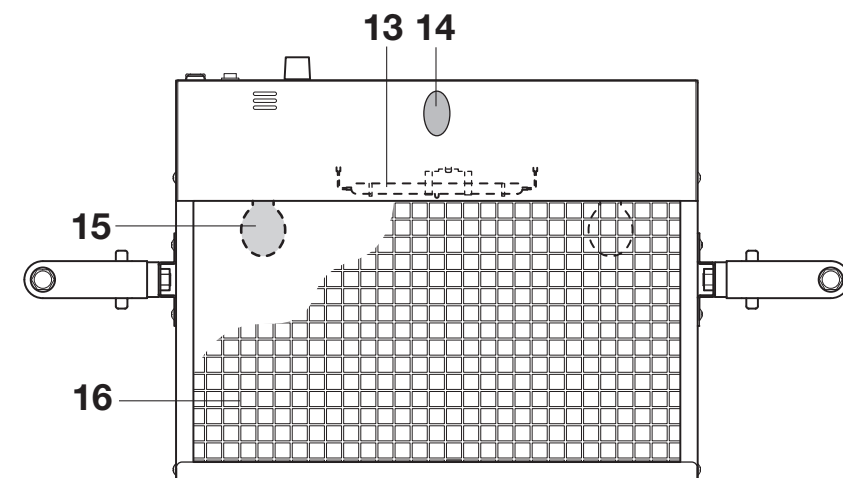
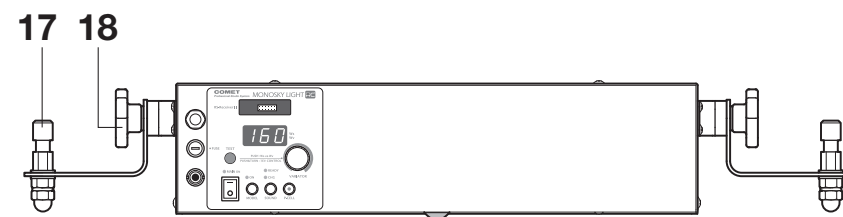
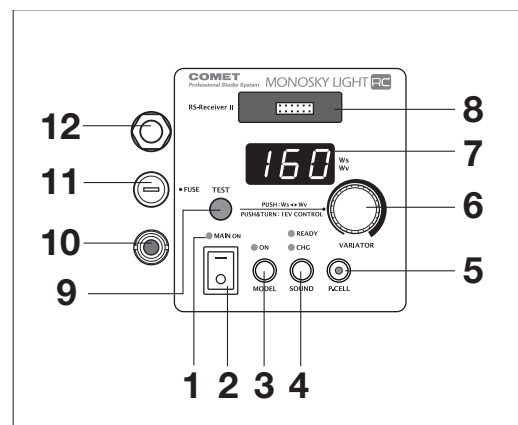
- 赤外シンクロ装置（弊社製）の受信機は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（弊社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。このときはすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。

赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは、同調発光しない電源部が出る場合があります。

3 各部の名称とはたらき

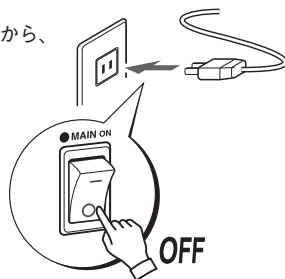


1	ACパイロットランプ (MAIN) / 過熱警報表示	メインスイッチを「ON」にすると点灯します。内部電子部品が所定温度以上になるとブザー音と共に点滅します。
2	メインスイッチ(MAIN)	AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にし、ACコードプラグをコンセントから抜き取るか、ブレーカーなどをOFFにしてください。
3	モデリングランプスイッチ (MODEL)	モデリングランプを「消灯(OFF)」または「点灯(ON)」にします。
4	サウンドスイッチ (SOUND)	充電サウンドを「消音(OFF)」「充電中音 (CHG)」または「充電完了音(READY)」にします。
5	フォトセルスイッチ (P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させる時「ON」にします。フォトセルスイッチ「ON」のとき緑色に点灯します。
6	出力バリエーター (VARIATOR) / 出力表示切換	出力をFULL～1/32まで1/6EVステップで調光します。押し込みながら回すと1EVステップで調光します。軽く押すごとに出力表示をWs(160～5Ws)または、Wv(10.0～5.0Wv)に切り換えます。
7	出力表示(Ws/Wv)	出力をデジタル表示します。
8	RS-レシーバーII 接続コネクター	RS-レシーバーII(別売)を接続します。RS-レシーバーII以外の接続は絶対にしないでください。
9	レディーランプ / テスト発光スイッチ (TEST)	充電が完了すると点灯します。テスト発光をするときはランプ部を軽く押してください。また、不発光が生じたとき点滅します。
10	シンクロソケット	ホーンジャックタイプのシンクロコードでカメラと接続します。
11	ヒューズホルダー	ヒューズは電源部を保護します。定格は必ずお守りください。
12	ACコード	ACコンセントに接続してください。使用後は安全のため必ずACコードをコンセントから抜きとるか、ブレーカーなどをOFFにしてください。
13	キセノン放電管	ストロボの発光管です。
14	充電完了ランプ / 不発光表示 / フォトセル兼用	充電が完了すると点灯します。不発光が生じると点滅し、ブザー音で知らせます。フォトセル受光素子が内蔵されています。
15	モデリングランプ(2個)	LED電球AC100V4.3Wまで使用できます。定格は必ずお守りください。
16	ディフューザー	アクリル板・ルーバー(黒)
17	取付金具	L型金具・ダボ(17φ)
18	固定ノブ	本体の角度を調整して固定します。

4 操作手順

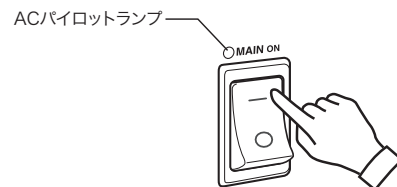
■ 1. AC コードを接続して下さい

メインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確かめてから、AC プラグをコンセントへ差し込みます。



■ 2. メインスイッチを「ON」にしてください

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。
AC パイロットランプが点灯し、充電が始まります。



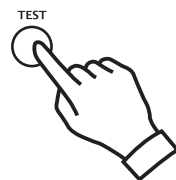
■ 3. 充電の完了

充電が完了するとテスト発光スイッチ (TEST) と本体発光面の
レディーランプが点灯し、発光準備が完了します。



■ 4. テスト発光をしてください

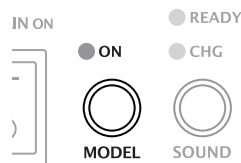
テスト発光スイッチ (TEST) を軽く押し、正常に発光することを
確かめてください。



■ 5. モデリングランプモードを選択してください

モデリングランプを使用するときモデリングランプスイッチ
(MODEL) を「ON」にします。

👉 詳細は 10 ページ 6. モデリングランプをご参照ください。



■ 6. カメラとのシンクロを確認してください

●シンクロコードをご使用の場合

CR-シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

●無線コントロール装置、無線シンクロ装置をご使用の場合

本機の RS- レシーバー II 接続コネクタに RS- レシーバー II を接続し、カメラでの発光テストを
します。(コメント RS - 発信器、RS- コントローラー、RS- レシーバー II は別売です。)

👉 詳細は 12 ページ 9. RS- レシーバー II をご参照ください。

【お願い】

- 本番撮影をされる前にシンクロテストを行うことをお勧めします。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を 1/60 秒で使用
してください。
- フォーカルプレーンシャッターの後幕シンクロには発光してもシンクロ (同調) しません。

5 出力バリエーター / 出力表示の切り換え

■ 出力バリエーター

出力バリエーター (VARIATOR) は、FULL (160Ws) から
1/32 (5Ws) までも 1/6EV ステップで調光します。
バリエーターを押し込みながら回すと 1EV ステップで調光
します。

- 出力を下げた場合、空発光は不要です。

👉 RS- レシーバー II を装着することで、RS- コント
ローラーからワイヤレスでの調光操作が可能です。



■ 出力表示の切り換え

軽く押すごとに出力表示を Ws (ワットセカンド) または、Wv (ワットバリュー) に切り換えます。

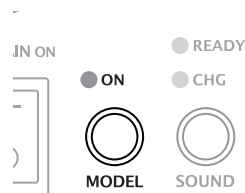
Ws (ワットセカンド) はストロボの電気エネルギー量を表す数値です。

Wv (ワットバリュー) は Ws を簡易指数に置き換えた数値です。本機の最大出力 160Ws を
10.0Wv とし、1Wv 下がるごとに 1 絞り分の光量が下がります。

6 モデリングランプ

モデリングランプスイッチ (MODEL) はモデリングランプを「消灯」または「点灯 (ON)」にします。

- 本機の適合モデリングランプは LED 電球型 40 形相当 E17 口金 昼光色です。



【ご注意】

- 適合モデリングランプ以外は絶対に使用しないでください。
発熱による、故障、発火の恐れがあります。
- 修理技術者以外の方は、絶対にモデリングランプの交換をしないでください。
本機には、メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も、内部に長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

7 サウンド

サウンドスイッチ (SOUND) は充電サウンドを「消音 (OFF)」 「充電中音 (CHG)」 または「充電完了音 (READY)」 にします。

■ OFF (モードを示すランプが消灯します。)

充電状況を確認するためのブザーが鳴りません。

■ CHG

充電中にブザー (断続音) が鳴り、完了すると止まります。

■ READY

充電が完了したときに、ブザーが鳴ります。

- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。



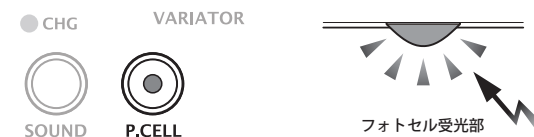
8 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。

フォトセルスイッチ「ON」のときスイッチが緑色に点灯します。

フォトセル受光部はストロボ本体下部のスレーブセンサーキャップに内蔵されています。

実際の撮影前に、必ず、カメラとのシンクロ同調テストを行ってください。



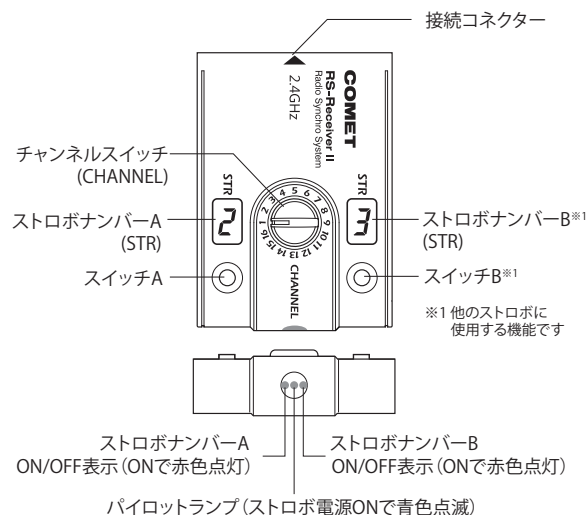
【ご注意】

- 室内照明に蛍光灯を使用しているときは、フォトセル受光部を 50cm 以上離してセットしてください。蛍光灯の光の影響により、不発光や誤発光することがあります。
また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。
- 赤外シンクロ装置で使うときは、必ず各本体に 1 台ずつ赤外シンクロ受信器をセットして、フォトセルスイッチを「OFF」にしてください。
フォトセルスイッチを「ON」にすると、発光しても同調発光しないものができます。

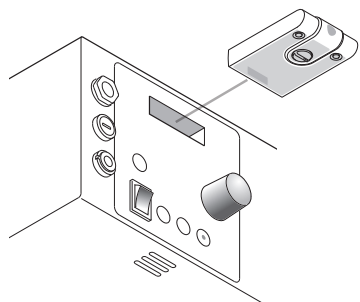
9 RS- レシーバーⅡ (RS-Receiver Ⅱ) 別売

モノスカイライト RC に RS- レシーバーⅡを接続することで、RS- 発信器、RS- コントローラーから無線シンクロ発光することが出来ます。RS- レシーバーⅡ、RS- 発信器、RS- コントローラーは別売です。

■RS- レシーバーⅡ各部の名称



■RS- レシーバーⅡの接続



1. ストロボ本体のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にしてください。
2. ストロボ本体の RS- レシーバーⅡ接続コネクタに RS- レシーバーⅡを取り付けてください。
3. RS- レシーバーⅡのチャンネルスイッチ (CHANNEL) を RS- コントローラーと同じチャンネルに設定してください。(1～16)
RS- 発信器をご使用の場合の設定方法は、別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」をご参照ください。
※チャンネルを変更する場合は、一度電源を「OFF」にしてから設定してください。

4. ストロボ本体のメインスイッチ (MAIN) を「ON」にしてください。
RS- レシーバーⅡのストロボナンバー (STR) が表示されます。(1～6)
※ストロボナンバー B が表示されている場合、スイッチBを2秒間長押しして OFF (消灯) にします。(ストロボナンバー B は使用しません。)
5. ストロボ本体のフォトセルスイッチ (P.CELL) を「OFF」にしてください。
6. RS- 発信器または、RS- コントローラーを使用した同調テストをします。
RS- 発信器または、RS- コントローラーのテストボタンを押します。
RS- 発信器または、RS- コントローラーからの信号を正常に受信すると、ストロボが発光します。

【ご注意】

- RS- 発信器、RS- コントローラーの使用法につきましては、各製品付属の取扱説明書をご覧ください。
- 無線コントロール装置、無線シンクロ装置（弊社製）は無線 LAN と同様に 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。
無線 LAN 環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。
その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。
(使用周波数：2.427GHz～2.457GHz)
- 無線シンクロ装置（弊社製）を RS- コントローラーまたは、RS- レシーバーⅡと併用される際は、無線シンクロ装置のチャンネルスイッチを別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」のように設定してください。
無線シンクロ装置 RS- 発信器 (RS-Transmitter)、RS- 受信器 (RS-Receiver) 付属の取扱説明書に記載されたチャンネル表は使用しないでください。
- RS- 受信器をストロボ本体とシンクロコードで接続して使用する場合は、RS- レシーバーⅡをストロボ本体から取り外してください。
- RS- レシーバーⅡをストロボ本体に取付け、取り外しをする際は必ず、ストロボ本体のメインスイッチを「OFF」にしてください。
- RS- レシーバーⅡをストロボ本体から取り外したときは必ず、付属のコネクターキャップをストロボ本体の接続コネクタに取り付けてください。
接続コネクタ端子のショート、破損の原因となります。
- 撮影機材を移動・運搬する際は必ず、RS- レシーバーⅡをストロボ本体から取り外してください。
ストロボ本体の接続コネクタ端子に負荷がかかり、破損の原因となります。

【RS- コントローラー使用上のご注意】

- RS- コントローラーから複数の RS- レシーバーⅡ（ストロボ）を操作する場合、極まれに受信できないストロボがでたり、到達距離が短くなるなどの影響がでることがあります。
RS- コントローラーで RS- レシーバーⅡを接続したストロボを操作したときは、コントローラーからのワイヤレス操作がストロボに反映(受信)されていることをご確認ください。
- 使用後は必ず RS- コントローラーから電池を取り外してください。
電池をセットしたまま RS- コントローラーをケースなどに収納した場合、誤って RS- コントローラーのスイッチが押された状態で放置され、電池が過放電による液漏れをおこす恐れがあります。

10 RS-コントローラー (RS-Controller)

RS-コントローラー (別売) のチャンネル数は16チャンネルです。

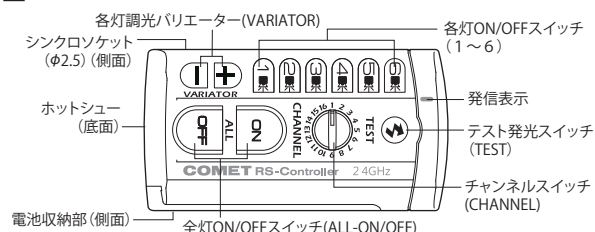
RS-レーザーII、無線シンクロ装置 (RS-受信器、RS ミニレーザー、RX-2 受信器) に対応したチャンネルに設定することで無線シンクロ発光が可能です。(別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」参照) ※無線シンクロ装置は別売です。

RS-レーザーIIを接続したストロボは無線シンクロ、テスト発光のほかに、全灯ストロボON/OFFが可能です。さらに、RS-コントローラーの各灯スイッチでRS-レーザーIIに設定したストロボナンバーを選択することで、個別にストロボON/OFFと調光が可能です。

- RS-コントローラーは複数のボタンを同時に操作できません。複数のボタンを同時に操作した場合、ストロボ本体が誤動作する恐れがあります。
- RS-コントローラーは5秒間操作しないと、スリープモードになります。
- RS-コントローラーの動作距離は見通しの良い場所で30m以内です。

■RS-コントローラー

各部の名称



■RS-コントローラーの設定

1. 電池収納部に単3形乾電池(1.5V)をセットします。※充電式電池(1.2V)は使用できません。電池収納部の極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。
※電池残量が少なくなるとRS-コントローラーからの操作到達距離が短くなったり、無線シンクロの不発が起きます。このような場合は、新しい電池に交換してください。
2. コントローラー底面のホットシューをカメラのアクセサリシューに差し込み、固定リングを締めます。シンクロターミナル内蔵のカメラの場合は、付属のシンクロコードで側面のシンクロソケット(φ2.5)と接続します。
3. RS-コントローラーとRS-レーザーIIのチャンネルスイッチ(CHANNEL)を同じチャンネルに設定してください。(1~16)

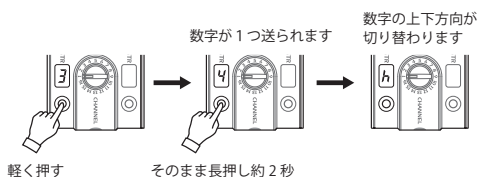
■RS-レーザーIIの設定

1. 12ページ「RS-レーザーIIの接続」の手順でRS-レーザーIIをストロボ本体に接続します。

2. RS-レーザーIIのスイッチAを押してストロボナンバーAを1~6に設定します。

スイッチを1回押すごとに1から6まで1つ送りに表示が切り替わります。

※スイッチAを押すと数字が1つ送られて、そのまま2秒間押し続けると、数字の表示方向が上下切り替わります。



- 同じストロボナンバーを2台以上のRS-レーザーIIに設定しないでください。RS-コントローラーは各チャンネルごとに最大6灯操作可能です。

■全灯ストロボのON/OFF

●全灯ストロボのON

RS-コントローラーの全灯ONスイッチ(ALL-ON)を押すと、同じチャンネルのストロボが一括ONします。

このとき、ストロボ本体の表示に出力設定値が表示されブザー音が鳴ります。

RS-レーザーIIのストロボON/OFF表示(赤)が点灯します。

●全灯ストロボのOFF

RS-コントローラーの全灯OFFスイッチ(ALL-OFF)を押すと、同じチャンネルのストロボが一括OFFします。

このとき、ストロボ本体の出力表示に「OFF」が表示されブザー音が鳴ります。

RS-レーザーIIのストロボON/OFF表示(赤)が消灯します。

※ストロボ本体のサウンドモード(SOUND)がOFFのとき、ブザー音は鳴りません。

■各灯ストロボのON/OFF

RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチ(1~6)を2秒間長押しすると、個別にストロボをON/OFFすることができます。

【ご注意】

- RS-コントローラーでストロボ本体を全灯または、各灯OFF操作をしてもストロボ本体のメイン電源は「OFF」になりません。ストロボ電源部を長時間で使用するにならないときは必ず、ストロボ本体のメインスイッチ(MAIN)を「OFF」にするか、ブレーカーなどをOFFにしてください。

■各灯ストロボの調光

1. 調光するストロボを選択します。

RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチ(1~6)を押すと、スイッチが点滅します。

このとき、ストロボに接続したRS-レーザーIIのストロボナンバーが点滅します。

※ストロボを「OFF」にした状態で、ストロボの調光はできません。

調光する前に、RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチでストロボを「ON」にしてください。

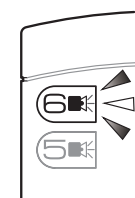
2. RS-コントローラーの調光バリエーター(VARIATOR-+/-)を押してストロボを調光します。
1回押すとストロボ本体は1/6EVステップで調光され、ブザー音が1回鳴ります。
長押しすると1EVステップで調光されます。
調光範囲を超えるとブザー音が2回鳴ります。

3. 調光が完了したら、各灯ON/OFFスイッチ(1~6どれでも)を押すと、スイッチのランプが消灯し、ストロボの選択が解除されます。

スイッチの選択は、操作しないままで約5秒経過しても解除されます。

■テスト発光

テスト発光スイッチ(TEST)を軽く押すと、同じチャンネルのストロボが発光します。



11 不発光警報

■ 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しなかったときは、ブザーの連続音が鳴り、同時にレディーランプが点滅します。

充電完了前に発光操作を行ったとき、発光はせずレディーランプが点滅して、ブザーの連続音が鳴ります。

●警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。



■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。また、メインスイッチ (MAIN) を一旦「OFF」にすることも解除できます。

12 過熱警報

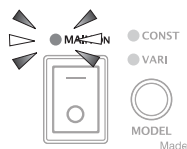
長時間の連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になった場合は、AC パイロットランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときは、直ちに使用を中止してください。

●警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除

メインスイッチ (MAIN) を一旦「OFF」にして、ふたたび「ON」にするとブザーの連続音は停止します。

内部温度が下がるまで AC パイロットランプは点滅します。



13 ヒューズの交換

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にしても、電源が入らない場合はヒューズが切れている恐れがあります。

ヒューズホルダーの蓋をマイナスドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。

切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

注意



- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACコードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

14 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れてないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

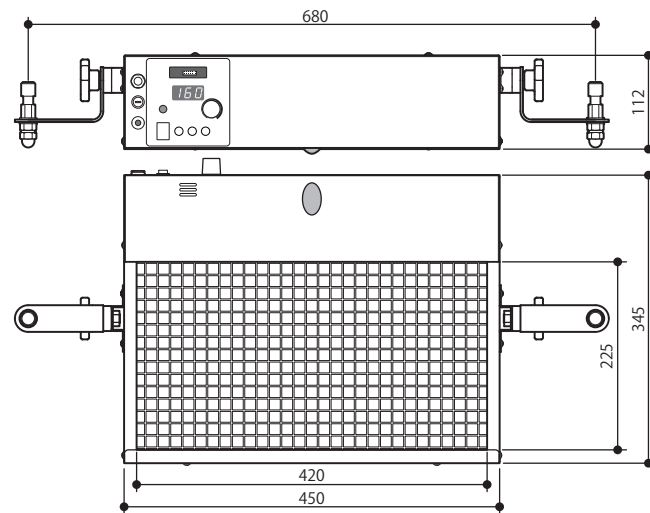
修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

15 仕様

品 名	モノスカイライト RC
型 式	MS-SL-RC
最大出力	160Ws
定格電圧	AC100V±10% 50/60Hz
ヒューズ定格	ストロボ用 6A(内蔵)
ストロボ調光方式	シリーズカット調光
ストロボ調光範囲	エンコーダーによるFULL～1/32 1/6EVステップ (ツマミ押し回し 1EVステップ)
出力表示	7セグメント(3桁) OFF表示あり※1 ツマミを押すごとにWs(160～5Ws)または、 Wv(10.0～5.0Wv)表示に切り換え ※1 RSコントローラーでの全灯または、各灯OFF操作時
モデリングランプ	LED電球小型40形相当E17昼光色 AC100V-4.3w×2個
モデリング調光モード	100%点灯(CONST) / 消灯(OFF)
充電時間(FULL)	2秒/1.8秒(50Hz/60Hz)
閃光時間(FULL)	1/600
連続発光回数	調光1/32(5Ws)の時 1秒間に10回発光可能※3 ※3 ご使用になる電源環境により同期しない場合があります。
充電サウンドモード	充電完了音(READY) / 充電中音(CHG) / 消音(OFF)
レディーランプ	テスト発光スイッチおよび、スレーブセンサーキャップが充電完了で点灯
シンクロソケット	ホーンジャック 1個
リモコン受信機能	RS-ReceiverⅡ専用コネクタ 1個(着脱式) 使用周波数2.427GHz-2.457GHz
シンクロ電圧	DC12V
フォトセル	内蔵(スイッチ付)
不発光警報	ブザー連続音とレディーランプ点滅
過熱警報	ブザー連続音とACパイロットランプ点滅
ACコード	直出し(3.4m)
ディフューザー	アクリル板(乳白色)+ルーバー(黒色)
寸法(本体)	450(w)×345(d)×112(h) mm
(発光面)	420(w)×225(d) mm
重 量	4.5kg (L金具含む)



品 名	RS-Receiver II
型 式	RS-R-2
使用周波数	2.427GHz-2.457GHz
チャンネル数	16CH×6灯
動作距離	30m以内
灯体識別表示	7セグメント(1桁)×2回路
寸 法	43(w)×61.5(h)×13(d) mm
重 量	20g

※ RS-Receiver II は別売です。

品 名	RS-Controller
型 式	RS-CNTR
使用周波数	2.427GHz-2.457GHz
チャンネル数	16CH
各灯スイッチ	6
動作距離	30m以内
送信LED	有り(発光、全灯ON信号送信時に点灯)
テスト発光ボタン	有り
ストロボ調光	各灯スイッチで灯体を選択、+/- ボタンによる
ストロボ ON/OFF	全灯：ON/OFF スイッチで全灯 ON/OFF
	各灯：各灯スイッチ長押しで各灯ストロボ ON/OFF
使用電池	単3乾電池(1.5V) 1本
寸 法	43(w)×38(h)×81(d) mm
重 量	45g

※ RS-Controller は別売です。